会　　　議　　　録

１　会議の名称　　第８回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議

２　会議日時　　　平成27年12月９日（水）午前10時30分～正午

３　開催場所　　　岡谷市役所　９階大会議室

４　出席した者の氏名

（１）委員　　　小口泰史委員、早出隆幸委員、中村文明委員、中村麻紀委員

浅井秋彦委員、大畠一洋委員、花岡欣二委員、小池良彦委員

小山智委員、小野正行委員、武田彰委員、薩摩建委員

伊藤敏昭委員、横内敏子委員、久保寛男委員

太田博久委員、小林伊奈子委員

今井竜五委員、中田富雄委員、宮澤昇委員

（２）執行機関（事務局）小口明則、山岸徹、岡本典幸、小松秀尊、鈴木桂、相河美咲、内尾祟人

田村賢二、廣瀬智子、仲田健二、三澤達也、両角秀孝、名取浩

（３）その他　　(株)サーベイリサーチセンター　静岡事務所　田原歩

（人口ビジョン・総合戦略策定に関する調査・分析業務　委託業者）

５　議題

（１）岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）および総合戦略（案）についての意見交換

（２）その他

６　会議資料の名称

資料１　　　岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略（修正案）

資料１－１　戦略展開のためのアクションプラン（平成27年度分）

資料２　　　岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）新旧対照表

資料３　　　意見・質問等連絡票

資料４　　　人口推計のグラフ

別紙１　　　用語解説

７　発言の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 事務局  事務局  事務局  会長  事務局  事務局  事務局  会長  事務局  会長  事務局  事務局  事務局  事務局  事務局  会長  委員  事務局  委員  会長  委員  会長  委員  委員  会長  委員  事務局  委員  会長  委員  会長  委員  会長  委員  会長  委員  会長  会長  事務局 | （１　開会）  定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日は、大変お忙しいなか、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、第８回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催いたします。会議の前に、市民憲章の唱和を行いますので、恐れ入りますが、ご起立をお願いいたします。次第の裏に憲章文がございます。職員が前文を読みますので、私たちは、から、ご唱和をお願いいたします。  （全員で市民憲章唱和）  ありがとうございました。ご着席ください。  （２　会長あいさつ）  続きまして、会長よりごあいさつをお願いいたします。  皆さんこんにちは。本日は皆様には、12月に入り公私ともに大変忙しいなかをご出席を賜り心から感謝を申し上げます。前回の第７回の有識者会議では、私は入院をしておりまして欠席をして大変失礼をいたしました。お陰様で術後の経過も良く、公務に復帰をしているところでございます。よろしくお願いいたします。そして前回の会議ではこれまで皆様からいただいた幅広い分野のご意見を参考にさせていただきながら、庁内でとりまとめました岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について、担当より説明をさせていただいたところでございます。本日は前回ご説明いたしました総合戦略案、前々回ご説明をいたしました人口ビジョン案についてご意見をいただきたいと思います。なお今回が総合戦略の策定につきましては最終の有識者会議となりますので、これまで言い残した部分ですとか、そういったものがございましたら、この場でおっしゃっていただければというふうに思います。本日はよろしくお願い申し上げます。  本日は、ご都合によりまして、笠原委員さん、中山委員さんがご欠席となっております。会議事項に入る前に、資料の確認をお願いいたします。  すみません、お願いします。まず、お手元に次第がございます。次第が１枚。その次に、右肩上にございます第８回有識者会議資料１という冊子のもの、まち・ひと・しごと創生総合戦略修正案というもの。それと、次に、右上にございます資料１の１ということで戦略展開のためのアクションプラン平成27年度分。続きまして、Ａ４の横になっておりますけれども、資料２ということで、岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略案新旧対照表。続いてＡ４の縦でございますけれども、右肩に別紙１と記載がございますが、用語解説。それと資料３といたしまして、意見・質問等連絡票ということで１部。それと資料４ということで、老年人口の割合というようなグラフのついたものがございます。以上でございます。資料のほうをご確認をお願いします。  （３　会議事項）  それでは、会議事項に入ります。今井市長、議事進行をお願いいたします。  はい。それでは、会議事項に入らせていただきます。まず、会議事項１、人口ビジョン案および総合戦略案についての意見交換を議題といたします。始めに前回の会議でご質問いただきました岡谷版コミュニティスクールについて担当より説明をさせていただきます。お願いします。  （１）岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）および総合戦略（案）についての意見交換  ・岡谷版コミュニティスクールについて説明【別紙１】  今の説明で、ご質問はございますか。とりあえずよろしいでしょうかね。それでは続きまして、11月４日に開催いたしました市議会全員協議会への報告や前回の有識者会議の際のご意見等を踏まえまして、一部修正をしておりますので、この総合戦略案、変更点について、事務局より説明をさせていただきます。お願いします。  ・総合戦略の変更点について説明【資料１、資料１－１、資料２、資料３、別紙１】  簡単にこちらの部分をご説明いたしますが、まず、意見・質問等連絡票ということで、本日ご欠席の委員さんのほうからいただいたものでございます。こちらの部分で、ご意見といたしまして、１行目の最後の部分でございますけれども、漠然としたものですが、基本戦略Ⅰ、Ⅱは岡谷らしい計画と感じます。Ⅲ、Ⅳについては、ありきたりな計画という印象を受けます。これは致し方ないこともあるかもしれませんがということで、２行ほど飛んでいただきまして、最後のところ、限られた戦力のなかでは特にこうした考え方、取り組み方が必要だと思いますというようなことで、選択と集中が必要だというようなことでご意見をいただいてございます。次の段落、次に商業者の代表としてということで、来年中心市街地に諏訪地方では断トツに大きな商業施設が開店すると。こういった部分は大きなチャンスだと。買い物をするなら岡谷といわれるようになり、より多くの買い物客を呼び込むことのできる可能性が十分にありますので、既存の商店街や地域店が大型店と共存共栄することができれば、年配者にとってももちろんですが、特に若い人にとって魅力あるまちづくりつながると思われます。この大型店と地域商店の連携、支援が大変に大きな意味があることだと思われますので、総合戦略に是非盛り込んでほしいというご意見をいただいています。最後の部分でございますけれども、下から３行目、真ん中の辺りからでございますけれども、圏域の他市町村と連携を図りながら進めないと実現しないことも少なからずあると思われます。是非そうした考え方、方向性を積極的に取り入れるべきだと考えますというふうにご意見をいただいてございます。  おめくりいただいて２枚目でございますけれども、意見・質問等連絡票ということで、こちらにつきましては、後ほどご意見をいただければということを思っておりますので、私のほうからの説明は省略させていただきます。  続いて３枚目でございます。こちらが岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案と総合戦略案に対しますパブリックコメントということで、ご意見をいただきました。主な内容の部分については基本戦略Ⅰと基本戦略Ⅱの部分に分かれておりましたので、そのようなかたちで戦略ごとにまとめさせていただいてございます。まず基本戦略１の部分でございますけれども、１つ目、岡谷市の伝統ある工業活性化によりまちづくりを活性化し、岡谷の創生の進路を見出していくのが最も的確。２つ目、岡谷市の工業は規模の大小を問わず、金型、切削、プレス、鍛造、メッキ、組み立てなど幅広い企業の集積を持っていると。この際これをさらに大きく広い航空宇宙産業分野へと進出すべきというふうなご意見です。この方はお一人でずっと長い岡谷市の特徴をずっと記載していただいてございまして、１番最後の部分、下から３行目になりますけれども、市内の企業がここに持っている優秀な技術が世に知られず眠ってしまうことは、皆の大きな損失だと。現在、様々な組織、機構がある。夢といわずに、是非この航空宇宙産業の分野に日を当ててほしいというご意見をいただいたところでございます。１番下にあります、用途地域の見直しを必要に応じてピンポイントで早く対応できる体制にしてもらいたいというご意見でいただいてございます。基本戦略Ⅱ、岡谷ブランドの発信戦略の部分につきましては、１番上、地域に暮らす若者、30歳前後以下があまりにも少ないと。これからは空き家や空き地、荒地だらけの過疎化の一途で、滅び行く郷土のような気がしますので、総合戦略案に大賛成ということ。１つ飛ばしまして、次、諏訪湖サービスエリアのスマートインターチェンジ化について、これは新時代、新岡谷起爆剤にする必要があると思うと。次世代の岡谷の商業、工業、観光等の新しい玄関口として全国に発信し、地域を活性化できればと思うということでございます。この方も以下のポツまで全部記載をしてございまして、スマートインターをうまく活用せよというご意見をいただいたところでございます。少しスペースをあけまして、４つほどございますけれども、１つ目、本市の魅力発信の仕方を具体的にすることで、企業で働いている若者の声だとか子育て支援、青少年団体、スポーツ団体等の生の声を発信すべきであるということ。また２つ目、岡谷市内の観光拠点、商業施設を結ぶミニサイクリングロードの整備をする。さらに、ホテルに大浴場があれば観光客もくるのではないかと。それを整備する補助金を出していただきたいというご意見です。３つ目、中年層への帰郷の呼びかけや就活の場をつくってみてはどうかと。最後、国際交流フェスティバルというイベントを開催し、外国人を含む観光客を誘致したらどうかということでパブリックコメントをいただいたところでございます。  ・人口ビジョン案のグラフについて説明【資料４】  はい。ずっと説明させていただきましたけれども、ただいまのご説明に対しまして、ご質問等がありましたらお願いをいたします。  それでは、岡谷市まち・ひと・しごと創生ビジョンおよび総合戦略についてのご意見をお願いしたいと思います。先ほど冒頭のあいさつでも申し上げましたけれども、策定に向けては今日が最後の有識者会議ということでございますので、よろしくお願いをいたします。ご意見ありましたら挙手をしてください。お願いします。  戦略展開のためのアクションプランの戦略のところの質問でもよろしいですか。私は岡谷のブランドブックをつくるときに委員としてやらせていただいておりまして、この資料を見させていただいているなかで、資料としてこういうブランドブックが皆さんの手元にあると思いますが、この新規の３ページ、ブランド推進室の担当の、岡谷ブランドマネジメント事業というものがございますが、このだいたいの概要がわかりましたら。どういうような進め方をするか、少しお聞きしたいと思います。  これは地方創生の交付金を活用しまして、本年度、繰り越し事業としてやっております岡谷シルクコレクション、絹コレという事業で、東京にあります文化服装学院、それから装苑というファッション雑誌、それと岡谷市がコラボレーションしまして、岡谷の絹を使って、文化服装学院の学生が作品をつくると。それで、そのファッションショーというようなかたちを予定してございますが、来年の２月にファッションショーというようなかたちで市民の皆さん、それから関係者の皆さんにお集まりいただきまして披露したいと考えておる事業でございます。  わかりました。ありがとうございました。すべてこの見せていただいたなかでやはりこのブランドブックに沿ってやっていくのが１番岡谷らしいのではないかなと思っておったものですから、このマネジメントの新しい、新規ということですので質問させていただきました。以上です。  はい。ありがとうございます。岡谷の情報発信をしていくということについても、ブランドブックに沿ってというような取り組みが随分あるようですのでまたよろしくお願いいたしたいと思います。他にございますか。ご意見なりご質問なり、何でも構いません。最後、まとめの会でございますのでよろしくお願いをいたします。  質問になりますが、選択と集中が必要だというような意見があったのですが、私のほうはそういった面、どうしても施策としては幅広くやらなければいけないとは思うなかではあるのですが、選択と集中が必要ではないかと考えておりましたが、実際にこのプラン、一通りを戦略として挙げているので、選択と集中など一見ないように見えるのですが、市のほうとして、ここに集中しているという部分が実際にはあるのではないかというなかで、そこがどの辺りになるのかというところがもしあるようでしたら教えていただきたいと思います。  選択と集中ということですが、これは実は１番スタートしたときにもお話を申し上げましたけれど、まず岡谷市に大きなまちづくりの計画といたしまして第４次岡谷市総合計画、後期の基本計画の２年目ということで、大きな計画がございます。それをもとに幅広なものでございますけれども、この総合戦略ではまずそこから絞りたいということでスタートさせていただきまして、内容自体かなり絞ってやらせていただいているかなというふうに思います。ただ色々な皆さんのご意見を聞いてくると、あれをやらないか、これも必要ではないか、という話になっていますので、そこからまた少し幅広になってくる部分があるのですけれども、やはりこの計画、やり遂げていかないといけないですし、市民の皆様にご理解をしていただかなければいけない計画かなというふうに思っておりますので、そういった意味で、先ほど申し上げましたように、絞り込んできておるところでございます。この選択と集中、そして大事な２割のことをおさえれば８割の成果が得られるということで、私たちもそれに期待をしたいところだなというふうに思いますけれども、予算のほうでも実は選択と集中というのも予算編成の１つの方法としてやっておりますので、良い事業にパワーをかけてやっていきたいと、そのように思っております。よろしくお願いいたします。  ありがとうございます。  私、先日、ここにも資料で配られておりますけれども、意見をということで意見を挙げさせていただきました。そこに書いてある通りというところではあるのですけれども、今回の戦略が人口の増加、人口ビジョン達成のためにということでつくられているということは十分承知しているところであります。ただそのなかで、製造業につきましては、雇用の創出というところが１つの命題になっていると思うのですけれども、個々の企業さん、実質的にいうと雇用の創生、創出を生まない活性化というのもたくさんあるのではないかと思いまして、そこの宣言が最終的に雇用を生み出しますということであったので、小さな企業さんであると雇用の創出を生み出さないというところもあったので少しメッセージ、一工夫できないかなというところを感じたものです。それから商業の振興につきましては、やはり暮らす人の目線で、観光客ということではなくて、そこに暮らす人の目線で必要なまちづくりというところをまた、これはお願いしたいというふうに考えたところです。それから３つ目のところの、シルクの文化の創造というところにつきましては、以前も少しお話しさせていただいたのですけれども、是非織物の産業をここでつくりあげていただいて、メイドイン岡谷という絹製品ができて世の中に発信していくというようなことができれば良いのではないかなと考えました。それから女性の活躍というところにつきましては、新しい戦略項目、追加があったというところは、拝見させていただいて、先ほど説明を受けましたけれども、当初起業件数だけが目標値ということになっていたので、女性の活躍というのは起業に限らず、そこに書かせていただいたように様々な場面があるので是非その辺を考えていただきたいなと思ったところでございます。雇用対策というところにつきましては、理想のワーク・ライフ・バランスを実現させるというようなメッセージがあればなというところを感じたようなところです。一通り前回のあれを見させていただいたなかで、少し私が感じたところを１枚まとめて意見として提出させていただいたところでございます。以上です。  はい、ありがとうございます。かなり具体的に色々ご指摘をいただいておりますので、こういった部分で、また、アクションプランとか、そういった側面、そういうところで活かしていければなというふうに思っているところでございます。女性のということで理由として女性の活躍する場は起業の場面だけではなく働く場面が圧倒的に多いというようなご指摘をいただきました。そういった意味では、先ほどの子育て応援の会社を増やしていくということは良いのかなというふうに思っております。また、順次参考にさせていただきたいというふうに思います。よろしくお願いをいたします。他にご意見、ご発言等ございましたらお願いをいたします。  １つ、質問をさせてください。11ページの基本戦略Ⅰの大きな目標値の件なのですけれども、平成31年、2019年度に全産業従業者数の23,000人という目標値ということで設定をされていますけれども、この全産業従業者数というのは製造業だけとかではなくてすべての産業、簡単に申し上げると働いている人の数ということなのかと思います。それで、そのときに、基準値になります平成24年度、2012年度が、生産年齢人口との比率でいくと、おそらく80パーセントくらいの方が働いて、生産年齢人口との対比でいくと、12年がわからないのですけれども10年15年辺りと比べると81パーセントくらいになるのかなと思いますので、この19年度ですと、生産年齢人口が、例えば19年という数字が出ていませんけれども、20年辺りと比べると87パーセントくらいの人が働いているというような割合になるのですけれども、急激に生産年齢人口のなかでこの目標値ということになると、比率が４パーセントくらい上がってしまうというのが目標値なのですけれども、ここはどういうふうに考えればよろしいでしょうか。  この全産業の従業者数ですけれども、市内の事業所、製造業の事業所もあれば、金融機関の事業所、飲食店、小売店もあるかと思うのですけれども、そこに働いていらっしゃる方なものですから、22,850は純粋に隣の町から岡谷の事業所へというような方も入っている数字です。平成31年度においても、どこも、岡谷を含めてこの諏訪地域の人口減少が想定されるのですけれども、何とか事業所数、働く場所も確保しながら、岡谷市内で働いていただける方も現状維持というようなかたちでいければなというところでの数字であります。  そうすると、必ずしもこの人数は岡谷市民とは限らないということですか。わかりました。それから、あとすみません、意見です。色々なご意見があるかと思いますが、ざっと、全部が細かく理解できるわけではないのですけれども、ざっと私なりに理解をさせていただいて、やはりこれだけのことを展開をするという、あるいは本当にこれから人口を何とか維持をしていく、あるいはあわよくば増やしていくということを考えていくうえでは、様々な要素が必要ですので、網羅的になって当然だと思いますし、それぞれのものがすべてやはり必要だということだと思います。そのなかでやはり選択と集中というのはなかなか概念としてはそうですけれども、何が欠けてもいけないというところがあるかと思いますので、非常に大変なことだろうなと思います。そのときに、先日とある新聞に出ていましたけれども、今岡谷市も当然そうですが、全国の各自治体、ほとんどすべてのところで、こういう創生の基本の計画ということの作成だとかということが進んでいるということだと思います。そのときにその新聞に出ていたのは合成の誤謬という言葉でしたけれども、各自治体でそれぞれ当然のことながら人口の流出を防いで、流入を増やすということで、それぞれのところが人口増、維持あるいは増を計っていくという計画をつくっていると。もうこれはその通りだと思いますし、岡谷市も当然そうすべきだというふうに思います。ぞれぞれのところでの整合性はきちんととれていますけれども、ところが全国の人口は残念ながら減っていく。そういう全体のなかで、各自治体すべてがおそらく流出を減らして、流入を増やすという計画をつくる。そうしますと、それぞれの自治体の計画では整合性がとれているけれども、全体にしたときにはどうしても整合性がとれなくなるというのがやはり現実なのだと思います。ですので、これは一つ一つのことをしっかりどうやって行っていくかということと同時に、変な言い方かもしれませんけれども、本当に他所からいかに人を取り込んでくるかという競争というのが残念ながら現実なのだと思います。そのときに私もこの仕事をしているなかでつくづく感じることなのですけれども、やはり特に最近は情報というものが非常に大事な時代になってきているというふうに思います。いかに自分たちがやっていること、あるいはやろうとしていることを伝えられるかどうかということがもしかしたら非常に大きい、そういった状況、環境のなかで、人をやはりひきつける、呼び込む、重要な、内容そのもの以上に、いかに情報を発信をし、必要な方に届けていくか、届くようにするかということがむしろもしかするとこれから重要になってくるのかなと、そのように思います。ですので、今、メディアも色々なものがありますし、それぞれ色々なことを活用をしていただいていると思いますけれども、この内容をいかに実行していくかということに加えて、いかに必要な方にこういうことを岡谷市がやっている、こういうことを目指している、こういう状況にあるのだということをいかに伝えていけるかというところがもしかすると１つの大きな分かれ目になってくるのかなと、そのように思いますので、その辺のところを、この計画を進めるにあたって、是非、改めて力を入れていただきたいと、意識をしていただきたいなというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。  はい、ありがとうございます。非常に貴重なご指摘をいただいたのかなというふうに思っております。実は私ども、年に１回、名古屋と東京で岡谷市の産業振興を考える懇談会というのを開催させていただいておりまして、先月、東京のほうで開催をさせていただきましたけれども、やはりその席ででも、いかに岡谷を知らしめるか、これが大切だというご指摘をいただきまして、岡谷のブランドの発信戦略のなかに様々な情報を混ぜ込んで発信していかなければならないなというふうに痛感をしております。流入を、また移住を望むのであれば、岡谷という地を知ってもらわないと、そういったことに考えが至らないというふうに思いますので、参考にさせていただきたいと、そのように思います。よろしくお願いします。他にご意見、ご質問等ございましたらお願いをいたします。  とりあえず、総合戦略をつくられて、大変ご苦労だったかというふうに思うのですが、先日、私東京とか名古屋のほうへ行きましたら、地方創生とか、総合戦略についての感覚というのが、地方とはどうも温度差があると実感としてあります。例えば隣の群馬県のとある市については総合戦略をつくらないというような意見もありましたし、それから愛知のほうへいったのですけれどもそうしたら人口が自然に増えているということで総合戦略の必要性がまったくないというような自治体もあるというような話も聞きました。是非、これだけの計画をつくられておりますので、極端に悲壮感を持つ必要はないと思うのですけれども、是非市全体としてこういう実態があるということで、継続的に目標としてやっていただきたいということと、あとパブリックコメントが、この間、市民新聞さんで１件も集まっていないというような記事もあったと思うのですけれども、是非情報というか、それから実態を、全市民に、継続的に周知を是非お願いしたいと思います。以上です。  はい。ありがとうございます。粘り強くということかなというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。他にございますか。  ２点、これはお願いですけれども、以前資料としていただいた岡谷市工業活性化計画の冊子のほうに載っていたのですけれども、１点懸念したのは60歳以上の経営者のうち、後継者の関係ですが24.9パーセントの方については自分の代で廃業しますよという方が非常に多いというここの部分なのですけれども、今回の総合戦略のなかで13ページのＣの経営環境の充実の②が特にそれにあたる部分なのですけれども、では今まだ60歳に達していない比較的若い経営者がこのくらいの年齢になったときに果たしてどう考えるかという部分がやはり非常に重要かなというふうに思いますので、これは相当しっかり考えて動かないといわゆる基幹産業である製造業というようなかたちになりますので、そこをよくしっかりお願いをしたいなということが１点です。もう１点については、特に広域で、あるいは圏域で考えなければいけない部分というのは随分あるでしょうという話は、この会議のなかでも随分多くの委員さんのなかから発言がありましたけれども、特に観光に関する部分ですね、この辺の部分については本当に広域でやはり考え取り組むべきことではないかなというふうに思いますし、来年御柱もありますけれども、１つ御柱をフックにしたかたちでそれ以外の部分のいわゆる観光地等のＰＲをするなどというようなこともしっかり考えていっていただきたいなというふうに思います。特に御柱は何もＰＲしなくてもお客様は相当来ると思いますし、逆に考えれば７年に１回のチャンスということもあると思いますので、その辺、諏訪６市町村、あるいはもっと広くなるのか、しっかり協力体制をとって対応していただければというふうに思います。以上でございます。  ありがとうございます。事業の承継ということは岡谷の大きなテーマだなというふうに思っているところであります。製造業の皆さんいらっしゃいますので、そこの皆さんと連絡を密にしながら、色々と知恵をもらいながら、事業所数というのはやはりそこの地域の力でもあるというふうに思っておりますので、重要なテーマとして進めていきたいというふうに思います。それと圏域の連携というところでございますけれども、今回は少し具体的に書かせていただいております。例えば、茅野市さんが提唱しましたビーナスラインの連携協議会ですとか、私どもが提唱させていただいていますシルクロードの連携協議会とか、そのようなかたちでの圏域での取り組みも考えていけると思います。当然、諏訪地方の環境保全もあります。そのうえには県の管理もございますので、そういったところと連携をして、事業にしていかないと、進まない事業は結構あるというふうに思っておりますので、圏域の中での連携に力を入れてと思いますのでお願いいたしたいと思います。他にご意見等ございますでしょうか。  感想と要望でもよろしいでしょうか。私は基本構想審議会にも関わった立場として、26年、27年がもうすでに動いているわけですけれども、この基本構想はかなり大きな問題を取り上げていて、大丈夫かなというような思いもあったのですが、市長さんもおっしゃったように、総合戦略は基本構想をもとにしてまとめたというかたちでより具体的になったということをお話をお聞きして、私も一応これ前回のものを読ませていただいたのですが、なるほどここまでよくまとめられたなというような、正直、思いがいたします。それでこれは感想なのですけれども、要望としましては、色々本当に皆様方からたくさんの要望とか意見が出されておりますが、まず産業関係に関しましては、それぞれ岡谷はものづくりということで、主体的になっていて、航空のこととか、ロボットの関係もつくっていらっしゃるということですので、より発展的な産業をこれからも進めていっていただきたいと思います。それから人口減少、人口増に関しましては、色々な意見も出ましたけれども、これは今までも全然努力をしなかったわけではないので、総合戦略をこれから実施していくわけですけれども、かなりの努力をしないと人口増および子育て支援も、人口増のなかの結婚とかそういうことに関しても、本当に努力をしていかなければいけないことだろうと思います。かなりの努力をしてもそれほど期待できるほど増えていかないのではないかというような思いがしますので、今もおっしゃったように、幅広い情報を集めて、それと一般市民の皆さんにもこういう関わる人たちを増やしていくというか、そういうようなことをしながら、人口増対策をしていかなくてはいけないのではないかと思います。それから先ほどの説明のなかで20ページの新しいひとの流れをつくるというようなところで交流人口を増やすという、そのようなことがあったのですけれども、それに少し関わるのですが、大きな店舗が出るということで、そこはそれなりに集中、お客様たちもお見えになると思いますけれども、これはかなり車で来る人たちが多いのではないかと思うのですね。それで、車だけでなく、高齢化になると、車以外の人たちも集客しなければいけないということになりますと、岡谷の玄関口である岡谷駅周辺にＪＲの駅長さんもいらっしゃっていますけれども、ＪＲの交通機関を利用しての集客もしていかなくてはいけないのではないかと思います。それで今ララオカヤがあの状態ですというのですが、これをどうしようかというとお金もかかることだろうと思いますけれども、１つの玄関口として岡谷駅周辺の見栄えというか活性化も何とかしてこれから進めていけたら良いのではないかと思っております。あとは本当に、つくって終わりではなく、これからがいよいよスタートですので、これは岡谷市だけではなくこの諏訪地方一体となって進めていかなくてはいけないことだと思いますので、この修正案も含めた総合戦略の策定にあたっての御苦労にも感謝すると同時に私たち一般市民もこれからも頑張って岡谷市を発展させるために頑張っていかないといけないなというようなことを感じました。以上です。  はい。ありがとうございます。何点かご指摘をいただきました。総合戦略のなかで、アクションプランのなかで、しっかりと活かしていかなければならないのかなというふうに思います。そして戦略をつくっておしまいではなく、これからがスタートでございますので、是非、委員の皆様には、またお力添えをしていただかなければいけないと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。  私のほうから、23ページになります、観光振興のところでお話をさせていただければと思うのですが、この観光客数を目標に掲げていただいていますけれども、やはり観光客を増やすには、訪れたお客様に、いかに来て良かったなと思っていただけること、これがまたこういうＳＮＳが発展している時代ですので、本当に良いこと、悪いことを含めて、すぐに拡散する時代でございますので、やはりちょっとしたことでもいいなということについては、来たお客様が岡谷の情報発信源に、一番の情報発信源になってくれるというふうに思いますので、また来たいと思っていただけるリピーターを増やすためにも、やはり訪れたお客様にいかにいいなと思っていただけるというのが大事だと思っています。ただそのいいなというのは、ハード面というか、魅力ある観光資源というのは大事だと思うのですが、あともう１つ、やはりそこに携わる方というか、地元の方もやはりしっかりと来ていただいた方をおもてなしの心でお迎えをするというのが大事ではないかなというふうに思っております。ですので、24ページにも受け入れ体制の整備というなかに、観光人材の育成ということで、観光案内人の育成に努めますというお話もありました。とても良いことだというふうに思います。ただ、観光に携わる方だけでなく、本当に、もちろん私たちもそうですけれども、駅を降りた駅員、係員の対応であったり、例えばお茶を飲んだときのお店の方であったりとか、何か買い物をしたときの店員さんであったりとか、そういう本当に旅行は観光だけでなくその土地を訪れた、その土地の人とのふれあいもすごく印象に残るというふうに思いますので、やはり私たち、受け入れる地元の岡谷市の皆さんが、市民の皆さんが、やはりこの観光に訪れた方に対して、おもてなしの心で、来ていただいているという、そういう気持ちを持っていただけることが大事でないかなと思いますので、是非、おもてなしマイスターではないですけれども、そういった、観光客だけではなく地元の受け入れというのもしっかりとしていけたらというふうに思っております。あと、もう１点、女性の活躍の場面で、是非目標のところで、女性就業率の向上を図りますという話を挙げていますので、是非起業件数だけでなく、やはり働く女性にとってそういう就業率の向上であったり、各企業さんがどれだけ働く女性と子育てを両立されているかといったような視点も、是非、どこまで件数目標をあげるかというのは難しいと思うのですが、起業件数だけでなく、今実際働く女性に対してどうかというところの目標も含めて何かやっていただければなというふうに感じました。以上でございます。  はい。ありがとうございました。何点かご指摘をいただきました。おもてなしの心というご指摘をいただきまして、本当にその通りだなというふうに思っているところでございます。私も知らなかったのですが、この間テレビ番組がありまして、岡谷の駅に降りて、鰻屋さんでしたか、この近くに鰻屋さんがありませんかといったら、ないというふうに答えてしまったというようなシーンがあったそうでございまして、残念だなというふうに思いました。ただ、私たちは実は観光ということは最近やっと立ち上がってきているという部分もありますので、おもてなしの心をどうやって皆で盛り上げていくか、観光協会会長さんなどとも相談しながら進めていかなければいけない重要な点だと思います。女性のことについて指標について検討させていただくということでよろしくお願いしたいと思います。他にございますか。よろしいでしょうかね。色々なご意見をいただきましたけれども、ありがとうございます。またこのメンバーはこれで終わりということではなくて、次の審議もしていただけることになっているわけでございます。色々な場面でご意見をいただければと、そのように思いますから、よろしくお願いいたします。それではただいまいただきましたご意見等参考にさせていただきまして、修正を再検討していただきまして、市の本部会議で戦略につきましては最終決定をさせていただきたいと思います。有識者会議といたしましては、そういったまとめをさせていただきたいということでよろしゅうございますかね。はい。ではご了承いただきましたので、そのようなかたちでまとめをさせていただきますのでよろしくお願いをいたします。ありがとうございました。  （２）その他  その他ということで、ありますか。なければここまでとさせていただきます。  本当に６月30日から、長期にわたり本日まで８回の有識者会議を開催するなかで、皆様から貴重なご意見をいただいてまいりました。私たちが考えもしなかったような素晴らしいご意見をたくさんいただきましたことを、大変に感謝をしております。本当にありがとうございました。今後、年内にまち・ひと・しごと創生本部会議を開催をし、今もそうですが、皆様からいただいたご意見を参考にしながら、総合戦略を決定をしてまいります。戦略の推進につきましては、ＰＤＣＡサイクルによりまして、実施する施策や事業について効果を検証いたしまして、総合戦略の見直しを図っていくこととなっております。来年度以降、有識者会議の皆様には、この効果検証の部分を担っていただきたいと思っております。これが先ほど私が担っていただきたいといった部分、この部分でございます。本当に効果の検証の部分を担っていただきまして、それぞれのお立場で戦略の推進にご協力を賜りたいと思います。引き続きご協力をお願いをいたします。本年最後の会議にあたって、ごあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。  （４　閉会）  以上をもちまして、第８回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了といたします。ありがとうございました。 |

上記に相違ないことを確認する。

会長　　今井　竜五